

令和3年度

# 小・中学生フォーラム in 津久戸小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

7月12日（月）、津久戸小学校（津久戸町2-2、校長：牧田健一）の6年1組27名、2組32名が、「津久戸の町を見直そう」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、児童たちは、自分たちの住む町の魅力や問題点について、学区内をフィールドワークして調べ、発表しました。「緑化」「落書き対策」「ユニバーサルデザイン」「路地裏の魅力」「ゴミ問題」の5つのテーマで、フィールドワークの結果分かった課題と、それに対して町をよくしていく方法について提案しました。

発表に引き続き、区長と児童たちの意見交換が行われました。児童からは「神楽坂地域の印象」「自分たちの提案の中で実際に取り組めそうなこと」「大規模災害に向けての区の実践」などについて質問がありました。区長は1つ1つの質問に丁寧に答えていました。最後に区長から「フィールドワークをやって皆さんの目で感じたことが大事だと思う。せっかく作ったものを活用するためにも、取り組みをどう持続させていくか研究してみるとよいだろう。」と話がありました。

児童たちは、写真や地図などを使って分かりやすくしたり、地域の人へのインタビューを紹介したり、工夫を凝らした発表をしていました。自分たちの住んでいる地域について問題意識を持って見直す良い機会となり、有意義なフォーラムとなりました。

